

誰もが快適なお風呂に入るために

入浴機器編

居宅介護支援事業所

1. 快適な浴室のために

入浴する上で、安全に入浴ができること・楽に入浴が出来ること・安心して入浴ができること、この3つが重要なポイントとなります。

入浴には大きな意味で、保清（身体の清潔）とリラックスという2つの目的があります。

入浴中の事故で死亡する人は交通事故での死亡より多く、年間1万人を超えと言われています。快適であるとともに、安全に入浴出来ることも合わせて考えていくことが大切と言えるでしょう。

2. 快適な入浴のために

まず浴室までの移動に気をつけましょう。

脱衣室……段差・室温・広さ（介護者も入れる広さ）はありますか？

洗い場……滑りやすい・広さ（介護者も入れる広さ）・立ち座りは楽ですか？

浴槽……出入り・またぎ・立ち上がりは楽ですか？

浴室作りの基礎知識

1. 入浴を支える福祉機器

浴槽の形 床の材質 滑り止めマット すのこ シャワーチェア
シャワーキャリー 浴槽用手すり バスボード 浴槽内昇降機 浴槽台 移乗台

2. 体の状態や目的に合わせた手すりを取り付けましょう

3. 車いすやシャワーキャリーで入浴する人のための寸法

できるだけ引き戸がいいでしょう。介護スペースも考えると浴室は1600×1600mmは必要です

4. 試用の勧め

福祉機器は実際に使ってみないとわかりません。業者に借りて確かめたり、ショールーム訪問も欠かせません。ご自分の目で見て確かめてから購入や改修をするとういでしょう。

5. 制度の利用・紹介

介護保険での福祉用具購入費の支給限度額は1年間に10万円までであれば9割戻って来ます（償還払い、自己負担1割）。対象商品はシャワーチェア・シャワーキャリー・浴槽用手すり・浴槽台・バスボード・移乗台・すのこ等です。



身体機能別入浴方法

身体機能レベルに合わせた入浴方法と福祉機器があります。それぞれの人の合わせた入浴方法を相談して、安心して入浴でき、入浴を楽しんでいただきたいと思います。

（森田 紀美子）